

第5回常磐公園改修事業基本計画検討懇談会

- ・緑の計画(案)について
- ・今後の計画作りの進め方について

平成23年12月15日(木) 13:30～

旭川市職員会館 3階 6号室

旭川市土木部公園みどり課

緑の計画(案)について

■第3回までの常磐公園の樹木や緑に対する意見

- ・常磐公園の歴史を刻んできた樹木を残しながら、ゆったりとした環境を次世代に残していきたい。
- ・公園内には非常に老朽化した樹木が多く、枯れ枝の落下や倒木の危険性がある。
- ・木の樹齢が経って高齢化していくときに後継樹をどのように育てていくか、どういう形で更新していくか広場などの空き地空間を利用しながらの対策をする計画が必要である。
- ・公園付近の住民にとっては、花粉が非常に問題となっている。
- ・将来の樹木の姿や管理などを踏まえた計画が必要であり、長期的なビジョンを持つべきである。

■第4回での緑の計画(案)内容

- ・公園内の樹木は、保全することを前提としながらも、学識・有識者など専門的見解や関係団体の意見を聞きながら、**中長期的な視野**に立って市民で考える**緑の更新**を図っていきます。
- ・緑の更新においては、将来目標とする樹林密度を設定し、**計画的な植栽**を進めていきます。
- ・**緑の質的向上**を検討しながら、四季の訪れや草花の香りなど訪れた人たちが楽しめる緑地空間の創出を目指します。
- ・北海道の**在来種を主体**に、高木、亜高木、低木を**適切に配置**するように変えていきます。
- ・多くの人たちが利用できる公園とするために、**安全、健全、整然(美型)**を樹木の管理の原則として管理体制を検討していきます。
- ・多種多様な樹種が観られる緑地空間、また木々に集まる野鳥のさえずりが聞こえる空間を目指します。

■第4回での常磐公園の樹木や緑に対する意見

- ・樹木の老朽化を確認するために、**立木調査の詳細**を提示してほしい。
- ・**複数の専門家**の意見を聞いてほしい。
- ・立木調査の判定は**貴重な意見**と受けとめ、丁寧に整理していく必要がある。
- ・効率的な発想だけではなくて、**生態学的な視点**を加えるべき。
- ・緑の計画は抽象的でわかりづらく、**具体的に示す**必要がある。
- ・次回、緑の全体の管理方針を別の専門家を含めて検討する**スケジュール**を示してほしい。

緑の計画(案)について

■ 検討スケジュール

H23.12～H24.3

- ・第5回懇談会にて緑の計画作成方法の確認
- ・第6回懇談会(H24.1月)にて経過報告及び市民アンケート内容の確認
- ・無作為市民アンケートを実施(2月)
- ・第7回懇談会(3月)にて緑の計画を含む常磐公園改修事業基本計画(案)の確認
- ・4～5月にパブコメの実施
- ・パブコメ結果を踏まえ、基本計画の策定

■ 検討方法

常磐公園全体の立木調査データを基に**専門家**の意見を聞きながら、事務局案として計画をまとめ、検討懇談会にて審議を図る
計画作成にあたり、無作為**市民アンケート**を実施し計画に市民意見を反映させる

■ 専門家

- ・懇談会委員(成田委員, 寺島委員)
- ・オブザーバー
立木調査実施者, 樹木医, 林業試験場,
学識者(生態学, 都市計画学), 公園緑地協会
オブザーバーには第6, 7回の懇談会に出席していただく

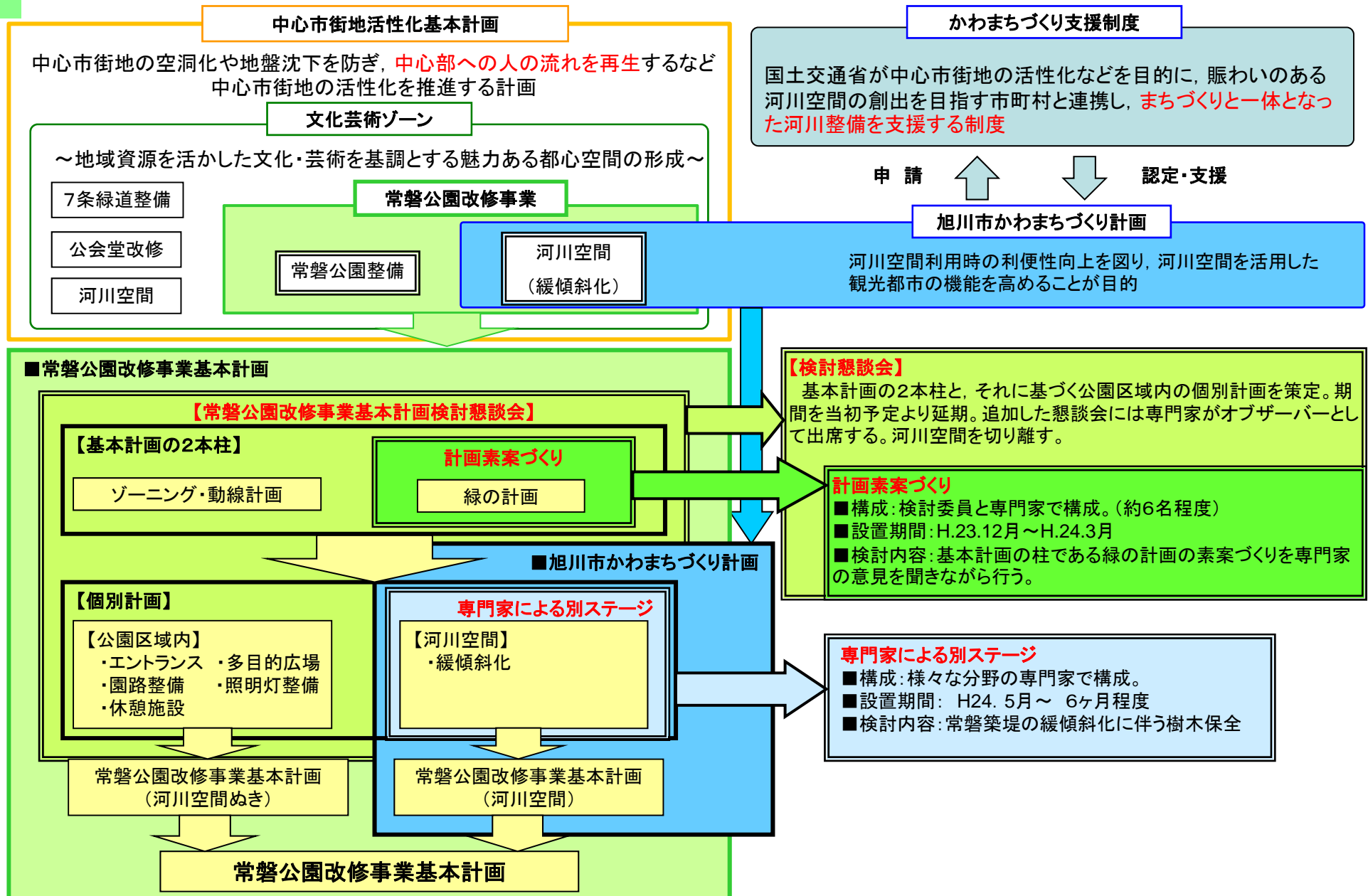
■ テーマ

- ・長期的な視点から**将来**(10年～50年～100年後)の常磐公園の緑のあり方を考え、都市公園として**質の高い緑**を確保していく

■ 検討内容

- ・現状の把握
例. ゾーンごとの緑の量(面積に対する本数, 直径別構成など), ゾーンごとの緑の質(樹種, 樹種別直径別構成など)
- ・樹種選定の基本方針
例. 在来種, 現況の樹種, 公園に適する樹種(樹齢や安全性などから), 広葉樹or針葉樹(落ち葉や防風, 緑陰の観点), 四季の彩りを感じる樹種(開花時期や紅葉の観点)など
- ・樹木の配置の基本方針
例. 園芸的(効率的)な配置, 生態系の視点を考慮した配置, 入り口周辺・池周辺・堤防部・園路沿い・民地境界などゾーンごとの異なる配置など
- ・今後の維持管理計画
例. 常磐公園の樹木としての維持管理基準の設定(安全性やコスト面から), 市民協働による維持管理方法の検討(樹木状況の調査, 後継木の植樹など)

常磐公園改修事業の検討組織の分離



今後の計画づくりの進め方について

■スケジュール(案)

第5回 常磐公園改修事業 基本計画検討 懇談会	12月15日 ・ 今後の計画づくりの進め方について ・ 緑の計画(案)について
第6回 常磐公園改修事業 基本計画検討 懇談会	H24. 1月下旬 ・ 緑の計画(案)について 立木調査データの検証結果と経過報告 ・ 市民アンケートについて 市民アンケート内容の確認
市民アンケート	2月中旬～下旬 ・ 常磐公園の緑の計画に関するアンケート調査
第7回 常磐公園改修事業 基本計画検討 懇談会	3月下旬 ・ 緑の計画(案)について 市民アンケート報告, 計画内容の最終確認 ・ 常磐公園改修事業基本計画(案)について (河川空間ぬき)
パブリック コメント	4月中旬～5月中旬 「常磐公園改修事業基本計画」(案) (河川空間ぬき)

第8回 常磐公園改修事業 基本計画検討 懇談会	6月上旬 ・ 常磐公園改修事業基本計画について (河川空間ぬき)
6月	「常磐公園改修事業基本計画」策定 (河川空間ぬき)
河川空間検討の 別ステージ	5月～10月 構成 : 関連する分野の専門家で構成 内容 : 常磐築堤の緩傾斜化に伴う樹木保全
パブリック コメント	9月 「常磐公園改修事業基本計画」(改定案) (河川空間)
10月	「常磐公園改修事業基本計画」改定 (河川空間含む)

■ 目的

常磐公園改修事業基本計画から切り離した「河川空間」について、『文化芸術ゾーン基本方針』及び『常磐公園改修事業基本計画「緑の計画」』に基づいて、様々な分野の専門家により整備内容を検討し、『常磐公園改修事業基本計画』に「河川空間」を含み基本計画を改定する

■ 検討スケジュール

H24.5～H24.10(全5回程度)

- ・4月から人選等の準備作業を始める
- ・5～8月に掛けて検討し、整備内容案をまとめる
- ・整備内容案について市民説明会を実施し、内容について市民周知をしたのち9月にパブコメを行う
- ・パブコメ結果を踏まえ、常磐公園改修事業基本計画を改定

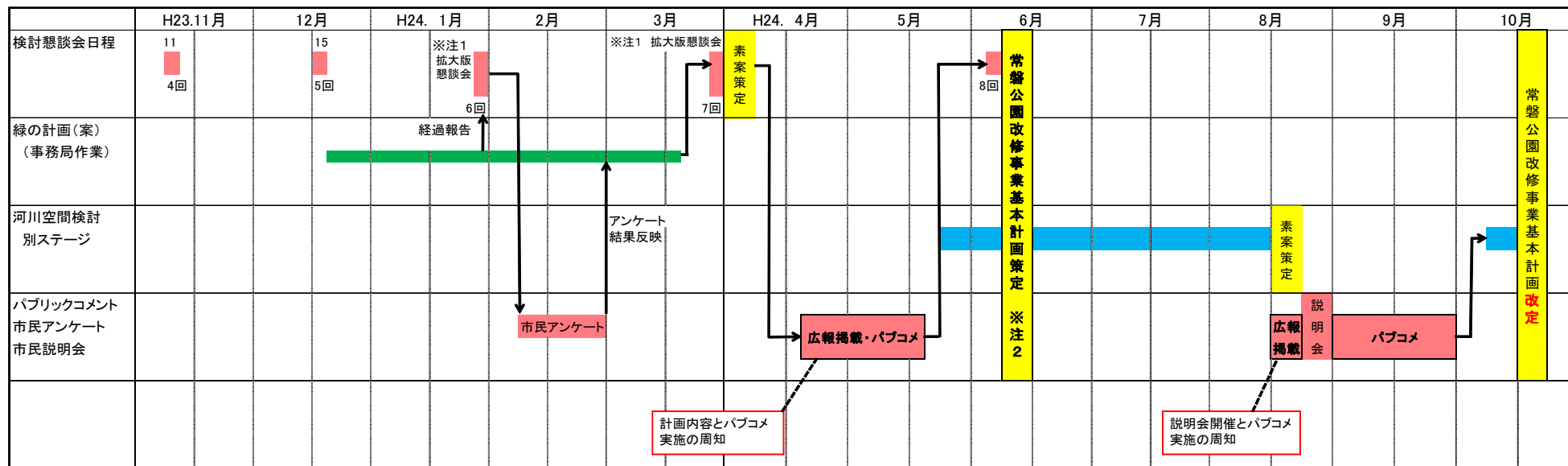
■ 構成

- ・樹木の専門家(複数)
- ・都市計画, 景観の専門家
- ・自然保護の立場
- ・河川管理者(旭川開発建設部)
- ・公園指定管理者(公園緑地協会)
- ・旭川市(まちづくり推進課, 公園みどり課)

■ 検討内容

- 常磐築堤の緩傾斜化に伴う樹木保全
- ・保全すべき樹木の選定
 - ・保全方法の検討

常磐公園改修事業基本計画策定詳細スケジュール(案)



※注1: 第6, 7回の検討懇談会には, 緑の計画(案)作成に当り意見を頂いた専門家の方に**オブザーバー**として出席していただく
 ※注2: 河川空間については専門家による**別ステージ**での議論とし, H24.6月策定の基本計画は河川空間を**切り離した**ものとする

■基本計画策定(河川空間ぬき)までの流れ

- ・第5回常磐公園改修事業基本計画検討懇談会にて「緑の計画(案)」作成方法の確認
- ・専門家の意見を参考に, 事務局にて「緑の計画(案)」を作成
- ・第6回懇談会(1月下旬頃)に中間報告
- ・緑の計画(案)について**市民アンケート**(2月)を行い, 集計結果を計画に反映させる
- ・緑の計画(案)を含めた常磐公園改修事業基本計画(案)を懇談会に示し, パブリックコメントの実施
- ・パブリックコメントに寄せられた意見を踏まえ, 常磐公園改修事業基本計画(**河川空間ぬき**)を策定

■河川空間検討の別ステージの流れ

- ・4月から人選等の準備作業を始める
- ・5~8月に掛けて検討し, 整備内容案をまとめる
- ・整備内容案について**市民説明会**を実施し, 内容について市民周知をしたのち9月にパブリックコメントの実施
- ・パブリックコメントに寄せられた意見を踏まえ, 常磐公園改修事業基本計画を**改定**